

Book Preview

富山高校図書館 2022.12



『 計算折り紙入門 』

上原 隆平【著】

「計算折り紙」は近年大変注目されているコンピュータサイエンスの分野である。研究対象として、「折る」ことに対するアルゴリズム、計算量などを中心に置いている。その応用分野は広く、建築・宇宙工学・医療・分子生物学など多岐にわたる。本書は、この「計算折り紙」の第一人者である著者が、折り紙パズルや演習問題を交えながら計算折り紙の最前線を解説していく。「計算折り紙」に関心のある読者必読の書である。

『 この30年の小説、ぜんぶ 』

高橋 源一郎【著】

本読みのプロである、タカハシさんとサイトウさん。平成から令和までの約三十年間に刊行された本を通じて、日本社会の深層を読み解いていく、唯一無二、白熱の対談集！「ほんとうに社会のことが知りたいなら、小説を読むべきなのである」（タカハシさん）「小説にはまちがいがなく時代の空気、言いかえれば「社会」が詰まっている」（サイトウさん）長い歳月をかけた対談の記録だからこそ見えてくる、思いもよらない読書案内。さあ、付度なしの本の世界へようこそ！2011年から令和まで、計6回おこなわれた本をめぐる対談から、日本社会が浮かび上がる。



『 いいかげんなロボット 』

鈴森 康一【著】

パワー、精密さ、効率を求めて、大きな成功を収めたロボット。産業界を中心に活躍しているが、赤ちゃんをやさしく抱きしめるといった行動はまだうまくできない。そんな、従来のロボットでは難しかった課題の解決にチャレンジする、ソフトロボットに注目が集まっている。いいかげんさやあいまいさを活用しようとする、従来のロボットとは逆の発想で生まれたロボット。本書ではソフトロボットの可能性を、さまざまな実例と最先端の研究とともにダイナミックに描き出す。未来を創る「いいかげんなロボット」の世界へようこそ！

『 岩波ブックレット ブルーカーボンとは何か 』

枝廣 淳子【著】

気候危機と海洋環境の危機、私たち人類が直面するこの二つの大きな危機の進行に歯止めをかける切り札として、世界的に熱い注目が集まるブルーカーボン。藻場などの「海の生態系」は、陸上生態系の最大10倍もの二酸化炭素を吸収・貯留するとともに、魚など多くの水生生物にとっての「生きるすみか」ともなる。そのしくみや可能性、加速度的に展開する世界の動き、海の豊かさを守り育てることの大切さとその身近な取り組みなどをわかりやすく解説。



『 ひとかけらの木片が教えてくれること 』

田鶴 寿弥子【著】

何の木から作られているの？ どこから運ばれてきた木材？ 顕微鏡やCTなどの科学的な方法で、仏像や神像、歴史的建造物、さらには木製の入れ歯まで、文化財に用いられたさまざまな木材の樹種を同定してきた著者が、これまでの調査で得た興味深い情報を紹介します。「人がいかに木に向き合ってきたのか」。その答えが、小さな小さなひとかけらの木片を見つめることで見えてきます。〈ひとかけらの木片が教えてくれる人と木の文化〉